

【共生推進教室新聞のタイトル「∞」について】

タイトル「∞」は、共生推進教室生徒の保護者から候補を募集し、共生推進教室の生徒に決めてもらいました。皆さんは「∞」でどんなことを連想しますか？数学の単元「微分」ででてくる極限をイメージする人も多いのではないのでしょうか。日常生活においては、「限りの無いこと」という意味をもちます。

このタイトルを提案していただいた保護者からのメッセージ

共生推進教室新聞のタイトル「∞(無限大)」には、皆さんには数えきれないほど多くの可能性(選択肢)があるので、どんな小さな事でも、あきらめないでほしいという意味を込めました。

それは、障がいのある子もない子と同じです。

今高生の全ての皆さんの未来は、∞に広がっています！

どんなことも、限界と決めるのは自分自身です。

自分がやろうと思えば、きっと、何だって出来ます。

今、うまくいかなくてモヤモヤしたり失敗したりすることも沢山あると思います。

けれどそれは悪い事ではありません。

それを乗り越えた時きっと、ひとつ成長した自分に出会えると思います。

自分と自分の好きなものを信じて進んでいって下さい！

【共生推進教室の頑張り】

文化祭共生推進教室コーナー

皆さんは、文化祭で、「共生推進教室」のコーナーをのぞきましたか？

のぞいた人は、共生推進生徒の生徒が日ごろ頑張っている様子や作品、接客の対応、得意分野の知識、普段教室では見えない一面などをみて、「すごいな～」と感じた人は多かったのではないのでしょうか？文化祭展示に向けて、夏休み中も一生懸命取り組んでいました。

【展示】授業の内容・休暇中の自由課題

(例：大阪メトロ全線全駅のスタンプ・フェルトで作成したアイドルの顔等)

【ゲーム】ペットボトルのキャップのタワー・ペットボトルのキャップ投げ

【クイズ】難読駅名あて・特急列車の走行区間あて・韓国語わかりますか

【ショー】ダンスの披露

【映像】 ドラム演奏



校内実習「オープンクッキー店」営業

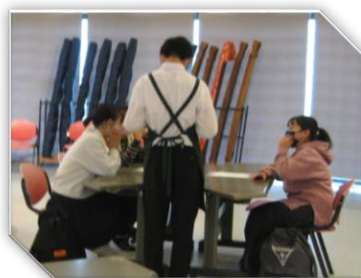
共生推進教室生徒による校内イベント「オープンクッキー店」に、生徒と教職員約120人が参加。参加してくれた人はありがとうございました。考査と重なり参加できなかった人はごめんなさい。事前の練習も十分できないまま本番を迎え、予想以上の盛況に、共生生徒もアタフタ、ドタバタ。だけど、5人が協力しながら、何とか頑張りました。

参加した人からの声は、「本当のお店みたいですごかった」「丁寧にハキハキと明るく接客（対応）していた」「共生生徒の努力が伝わった」「またあればやってほしいです」「頑張っている姿を見て、私も頑張ろうという気持ちになりました」「雰囲気もよく、心温まりました」と共生生徒の活躍を感じてくれました。

先生方からも、「ごこちないところはあるものの、頑張っている姿を見れてよかったです」「一生懸命に動いていたし、おもてなしの気持ちを感じることもできて感動しました」「挨拶の声の大きさも、こちらが元気になりました」とコメントをいただきました。

共生生徒も終わってから、「多くの生徒や先生が来てくれて、大変だったけれどうれしかったです」「全員で協力して本番を挑むことができたので、うれしかったです」「最後まで与えられた仕事をやりとげることができ、達成感がすごく感じられました」「いろいろな人とお話しできて、楽しかったです」「ミスをする、皆さんが温かく見守ってくれてよかったです」という感想を述べていました。

共生生徒の保護者の方も、「自分の仕事もきちんとこなし、周りの状況も見えていたようで、安心しました」「楽しかったと満面の笑顔で話してくれました」「接客用語のプリントで覚えようとしていて、とても意欲的でした」「自分に自信が持てたようで、『またやりたい』と報告してくれました」「実習を通して、他の人と話せるようになることができ、とてもよかったです」と好評でした。



校内貢献

定期考査で受験しない時間帯の時、共生生徒は何をしているのでしょうか？考査勉強？

どちらかと言えば、彼らは就労を意識し、いろいろな作業を頑張っています。彼らのエネルギー・パワーが、学校に大きく貢献しています。共生生徒の皆さん、ありがとう。

1学期期末考査時では、

体育や部活動で使用する防球ネット、少しずつ網が破れたりほどけてきたりしますね。その修理に、共生推進教室の1年生が頑張ってくれました。

2学期中間考査時では、

秋になれば枯れ葉、落ち葉が増えますね。掃除してすぐに葉がおちてたまってしまいます。総合学科の生徒たちも清掃してくれますが、共生推進教室の1年生も頑張ってくれました。